

2019年1月21日

あおぞら投信株式会社

## 「欧州の 東西の壁 壊しての 内なる統一 内憂外患」

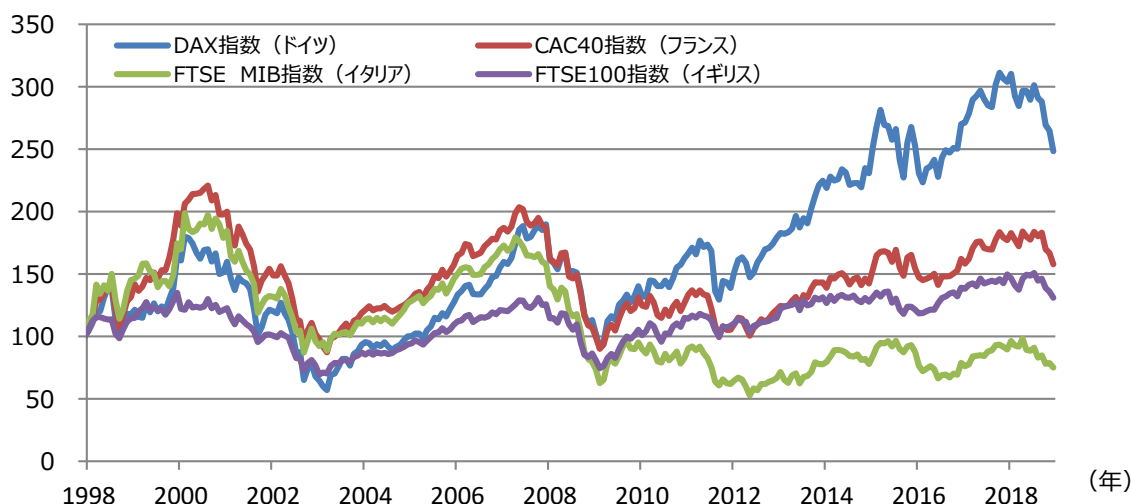
1989年に東西を分離していたベルリンの壁が壊されてから30年が経とうとしています。それをきっかけとして東西ドイツの統一、中央ヨーロッパと東ヨーロッパの独裁政権が倒れ、ソヴィエト連邦が崩壊していったのです。そして2013年のクロアチア加盟でEU(欧州連合)は現在28カ国が加盟しています。それでは今後のヨーロッパの展開はどのような課題があるのでしょうか。

1967年にECSC(欧州石炭鉄鋼共同体)、EEC(欧州経済共同体)、EURATOM(欧州原子力共同体)の3共同体を機関統合してスタートしたEUは、当初はベルギー、ドイツ(当時は西ドイツ)、フランス、イタリア、ルクセンブルク、オランダの6カ国でした。その後1973年英国等の加盟など拡大を続けてきました。1999年には経済通貨同盟の新段階として単一通貨ユーロの導入を決定、欧州統一は軌道に乗っていると思われましたが、経済力では圧倒的にドイツが強く、経常黒字も一人勝ちの状態が続きます。ただし、国内には対外的な負担に対する不満が燻っています。2017年にマクロン氏が39歳の最も若い大統領となったフランスでは、昨年末にかけて増税反対のイエローベスト運動\*が起こり、国民の不満が大規模な行動に現れました。イタリアでは2019年の予算案が財政赤字をGDP(国内総生産)の2.4%へと拡大するバラマキ色の強いものとなり、EUからの圧力で修正を余儀なくされています。このように各国は国内での不満に呼応する動きが増えており、今年5月の欧州議会選挙に向けてヨーロッパの課題は山積しています。一方、中国主導で始まった一帯一路構想はユーラシア大陸を結ぶものであり、EUにとっては米国と並ぶ貿易国の中国をはじめとする新たなアジアとの懸け橋が生まれる機会となります。単一通貨ユーロ誕生から20年が経ち、ヨーロッパも新たな時代に向かっているのだと考えます。

\*イエローベスト運動:2018年フランス国内での政府への抗議活動を指す。黄色い蛍光色のジャケットを着用することをシンボルとすることから名付けられたもの。

柳谷俊郎

欧州各国(ドイツ・フランス・イタリア・イギリス)の株式指数の推移  
(1997年12月末～2018年12月末)



出所:ドイツ証券取引所、ユーロネクスト・パリ、イタリア証券取引所、ロンドン証券取引所及び各種報道を基にあおぞら投信が作成。

※各株式指数は1997年12月末の値を100として指数化しています。配当は含みません。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>